

金見サロン 水曜クラブ 前村副所長医療講話開催

3月15日(水) 午後14時より徳之島町金見集会場で行なわれている、金見水曜クラブにて前村副所長による「地域で支える認知症のはなし」と題して医療講話を組合員20名・職員4名の参加で行いました。

「認知症には幾つかの種類があるが、その中でもアルツハイマー病が60%を占めている。アルツハイマー病は物忘れではなく覚えられない病気である。地域やサロンで関わりを持つことで認知症が軽減出来る」との講話に熱心に耳を傾けていました。講話後は、「認知症を遅らせるには、またならないようには何に気をつけたら良いか」また講話前に行った血管年齢について「血管を若返らせるにはどうしたら良いか」との質問等に丁寧に答えていました。終了後お茶を飲みながら、地域伝統芸能のDVDを見ながら交流しました。

追伸：金見水曜クラブは全国でも地域包括に先駆けた取り組みを15年前から行っており厚生労働大臣賞や県知事賞も受賞されているサロンです。



県知事賞も
頂きました〜



厚生労働大臣
優秀賞受賞!

